

北陸新幹線開業に向け新展開を

グリーン・ツーリズム発展へ大会

農山漁村で自然や文化、人々と交流するグリーン・ツーリズムの発展を目指す県大会が16日までの2日間、妙高市であった。来年3月の北陸新幹線開業に向け、観光を加えたグリーン・ツーリズムの新たな展開をテーマに開かれた。

県や妙高市などが主催し、県内の関係者約330人が参加した。15日、市文化ホールで東京農業大の鈴木源太郎准教授が「グリーン・ツーリズムを活用した地域再生の現状と方向性」と題して講演した。

鈴木准教授は「北陸新幹線開業でバラ色の将来が待っているとは言えない」と指摘。通過人口をどれだけ途中下車させるかが地域戦略として最も大事だとして、都市住民が農作業などを通して余暇を過ごす農村ワーキングホリデーの取り組みなどを提案した。

16日は、参加者が妙高の伝統工芸品のスゲ細工体験など6コースに分かれて、地元の人たちと交流した。

2014年10月17日 朝日新聞朝刊(新潟地方・27面)

県グリーン・
ツーリズム

妙高市で大会

きょう体験メニュー



を活用した地域再生の現状と
料情報学部
へ学科 准教授 鈴村源太郎

「新潟県グリーン・高」(新潟県、妙高市な
ツーリズム大会in妙)が15日、妙高市

大会初日、市文化ホー
ルで基調講演、事例発
表が行われた

基調講演では東京農業
大の鈴村源太郎准教授が
講師を務め、都市部と農
村部の人口動向から

で行われた。県内グリー
ン・ツーリズムのさらな
る発展の機会とし、関係
団体・個人の連携・交
流、研さんの場として毎
年開かれているもの。約
350人が参加し、初日
はメイン会場となる市文
化ホールで基調講演、事
例発表などが行われた。
きょう16日は市内6会場
で体験メニューが実施さ
れる。

妙高支局/〒944-0046
妙高市上町9-8
JCVビル1F
TEL0255-73-7912
FAX0255-73-8564

身近な情報
話題を
お寄せ下さい

「放っておけば過疎が過
疎を招く」と問題提起。
グリーン・ツーリズムを
活用した地域再生につい
て、農村ワーキングホリ
デーや学校の体験旅行受
け入れなど、事例を交え
て話した。

また、事例発表は地元
妙高市大洞原地区で荒廃
地を花畑に変えた農地再
生への取り組み、妙高小
6年生の学びや体験が発

表された。そのほか、国
立妙高青少年自然の家で
行われている体験プログ
ラムのノウハウについて
学ぶ「受け入れ学習塾」
も開かれた。

きょう16日は、トレッ
キングとスゲ細工づく
り、かんずり・豆腐の工
場見学、笹ヶ峰高原での
森散策・リースづくりな
ど各種体験メニューが用
意されている。